

## 令和5年度「地域の課題解決プロジェクト」実施報告書

### 主題「Challenge！いったれ！！あかがねプロジェクト

～別子銅山・SDGsを紡いだ先人たちの知恵に学び行動するエージェンシー人材育成～

愛媛県立新居浜南高等学校

### 1 主題設定の理由

別子銅山は世界に誇る環境対策やイノベーションを行い、新居浜を自然と産業が調和した四国屈指の工業都市へと発展させてきた。先人たちが課題解決へ挑んだ闘いの足跡を学ぶことによって、SDGsにおける意識や態度を身に付けさせるとともに、持続的発展可能な地域づくりに向けてのエージェンシー（変革の主体者）の育成を目的とし、本主題を設定した。

### 2 事業計画

主な事業について項目を示す。

月	日	実施内容	実施学年、参加生徒数、教育活動における位置付け、関係団体・協力者等
4	16	別子銅山を読む「切り上がり長兵衛考」坪井利一郎氏（別子銅山記念図書館）	地域共創系列・ユネスコ部員5名
	21	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」船木中学校登山事前学習会	地域共創系列5名
	22	別子銅山・旧別子地区現地調査・研究 遠足事前学習会	地域共創系列・ユネスコ部員5名 地域共創系列5名
	24	1年次生マイントピア別子へ遠足	1年次生119名、株式会社マイントピア別子
	26	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」大生院中学校登山事前学習会	地域共創系列5名
	27	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」東中学校登山事前学習会	地域共創系列5名
	28	4月子ども食堂	ボランティア20名、新居浜子ども食堂中村松木店
	5	1	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」船木中学校登山学習
3		別子銅山稼働時経験者の聴き取り調査（東平地区）	地域共創系列・ユネスコ部3名
4		別子山地区現地研修	地域共創系列・ユネスコ部3名
18		一般財団法人産業遺産国民会議との包括連携協定締結調印式（本校校長室）	地域共創系列・ユネスコ部6名
20		春季銅山峰のツガザクラ群落保護活動	ボランティア14名、懂山会 NHK、愛媛新聞、あいテレビ
25		ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」北中学校登山事前学習会	地域共創系列5名
26		ライフスタディⅠ「えんとつ山フィールドワーク」	2年次生100名、えんとつ山倶楽部
26		5月子ども食堂	ボランティア19名、新居浜子ども食堂中村松木店
6	8	地域共創講座①「別子銅山の歴史的意義」	地域共創系列7名、別子銅山記念館、PTA、角野公民館
	14	地域共創講座②「住友煙害の克服の歴史～受け継がれる先人の思い～」	地域共創系列6名、日暮別邸記念館、PTA、角野公民館
	15	ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」西中学校登山事前学習会	地域共創系列5名
	15	地域共創講座③「広瀬・伊庭 明治の近代化」	地域共創系列7名、新居浜市、PTA、角野公民館
	16	6月子ども食堂	ボランティア22名、新居浜子ども食堂中村松木店
	18	別子銅山産業遺産創造塾①	地域共創系列・ユネスコ部8名、新居浜市
	19	マナビバ！ゲンバ体験Ⅰ期[6/19～6/23] （一官工務店エンジニアリング本部、大石工作所、タステム、西岡鉄工所、西機電装株、三好鉄工所）	工業系列18名
	22	産業社会と人間社会人講話「第六次新居浜市長期総合計画」 「SDGs未来都市としての今後の取り組みについて」	1年次生119名、地域共創系列5名、 新居浜市総合政策課
7	5	いははま学Ⅱ社会人講話 「高校生まちづくり観光ツアープロジェクト企画～イベント企画について考える～」	地域共創系列5名、商業系列17名、 マイントピア別子
	6	地域共創講座⑤「別子銅山の近代化産業遺産の保存・活用について」	地域共創系列6名、新居浜市、PTA、角野公民館
	15	新居浜ユネスコ寄席（新居浜ウメンズプラザ）	ユネスコ部員2名
	20	新居浜市内五高校家庭クラブ交歓会（本校会議室）	地域共創系列・ユネスコ部員5名

8	24	別子銅山産業遺産創造塾②	地域共創系列・ユネスコ部9名、新居浜市
	2	新居浜市シニア交流センター上部「別子銅山を学ぼう！」出前講座	ユネスコ部員3名
	3	別子銅山産業遺産創造塾③	地域共創系列・ユネスコ部9名、新居浜市
	4	別子銅山産業遺産創造塾④	地域共創系列・ユネスコ部9名、新居浜市
	8	産業遺産情報センター世界遺産研修及び足尾銅山現地研修 [8/8～8/12]	地域共創系列・ユネスコ部6名、 産業遺産国民会議、栃木県立日光明峰高等学校
	22	別子銅山産業遺産創造塾⑤（認定審査）	地域共創系列・ユネスコ部9名、新居浜市
	24	JICA地域理解研修1日目 マイントピア別子端出場ゾーン・東平ゾーンでの観光ガイド	地域共創系列・ユネスコ部13名、 JICA四国、新居浜市国際交流協会
	25	JICA地域理解研修2日目 活動紹介、銅の折り鶴づくり交流	地域共創系列・ユネスコ部13名、 JICA四国、新居浜市国際交流協会
	25	8月子ども食堂	ボランティア5名、新居浜子ども食堂中村松本店
	26	新居浜ユネスコ協会「平和の鐘を鳴らそう」（あかがねミュージアム）	ユネスコ部員3名
	27	令和5年度地域視覚障がい福祉研修会（新居浜市総合福祉センター）	ユネスコ部員3名、愛媛県、新居浜市
9	15	新居浜市主催新居浜みらい会議「高校生政策アイデアコンテスト」最終審査会 優秀賞受賞	地域共創系列4名
	22	9月子ども食堂	ボランティア6名、新居浜子ども食堂中村松本店
10	19	地域共創講座⑥「多文化共生ってなに？」	地域共創系列5名、新居浜市国際交流協会、PTA、角野公民館
	20	地域共創講座⑦「異文化コミュニケーション」	地域共創系列6名、新居浜市、PTA、角野公民館
	20	第86回ESD中高連携事業「別子銅山を学ぼう！」泉川中学校登山事前学習会	地域共創系列6名
	21	秋季銅山峰のツガザクラ群落保護活動	ボランティア7名、檀山会、新居浜市
	27	10月子ども食堂	ボランティア7名、新居浜子ども食堂中村松本店
11	8	地域共創講座⑧「新居浜のものづくり産業①」	地域共創系列7名、新居浜ものづくり心育成協会、PTA、角野公民館
	8	令和5年度校内人権・同和教育講演会 演題「同じ地球市民として」	全校生徒324名、PTA、学校評議員
	9	地域共創講座⑨「新居浜のものづくり産業②」	地域共創系列7名、新居浜ものづくり心育成協会、PTA、角野公民館
	15	地域共創講座⑩「新居浜のものづくり産業③」	地域共創系列7名、新居浜ものづくり心育成協会、PTA、角野公民館
	17	11月子ども食堂（高校生ボランティア9名、OG1名）	ボランティア9名、新居浜子ども食堂中村松本店
	18	「別子銅山の歴史と自然を学ぼう！」（新居浜市社会福祉協議会別子山分館）	家庭クラブ4名、ユネスコ部3名、新居浜市社会福祉協議会
	19	「新居浜KENPOSウォーキングイベント」（惣開地区、星越地区）	ユネスコ部4名
	22	イッタレバ！ゲンバ体験実習I期報告会	工業系列18名
	25	あかがねの道スタディーツアー2023実践（参加者4名、生徒4名）	地域共創系列5名、新居浜市、大石工作所、ハートネットワーク
12	7	地域共創講座⑪「写真で見る いいはま今、昔」	地域共創系列7名、新居浜市、PTA、角野公民館
	9	広瀬歴史記念館特別企画展関連行事 第14回台所喫茶店[11/9～11/10]	ユネスコ部4名
	16	マレーシア・バドミントンチームとの交流	地域共創・国際教養系列・ユネスコ部12名、愛媛県、新居浜市
	12	12月子ども食堂	ボランティア10名、新居浜子ども食堂中村松本店
	23	産業遺産国民会議連携 産業遺産特別講座 小西伸彦先生講演	地域共創系列・ユネスコ部5名、産業遺産国民会議、PTA、角野公民館
	24	吉岡銅山・石見銀山現地研修 [12/24～12/26]	地域共創系列・ユネスコ部4名、島根県立蓮華高等学校、 栃木県立日光明峰高等学校、石見銀山ガイドの会
1	17	地域共創講座⑫「地域にある国際社会～グローバル人材として～」	地域共創系列7名、JICA愛媛、PTA、角野公民館
	18	地域共創講座⑬「日本でのベトナム人としての生き方」	地域共創系列7名、新居浜市国際交流協会、PTA、角野公民館
	19	1月子ども食堂	ボランティア6名、新居浜子ども食堂中村松本店
	22	イッタレバ！ものづくりゲンバ体験実習II期[1/22～1/26] （近藤工作所、四国竹林塗装工業、タステム、萩尾機械工業）	工業系列10名
	24	地域共創講座⑭⑮[1/24～1/25] 「SDGsの視点で考える気候変動～“わかっている”から“貢献できる”へ～」⑭⑮	地域共創系列7名、新居浜KITE、 愛媛県地球温暖化防止活動推進センター、PTA、角野公民館
	30	令和5年度ライフスタディII（課題研究）等学習成果発表会（市民文化センター）	全校生徒322名、PTAその他
2	1	地域共創講座⑯「銅山峰のツガザクラ群落」	地域共創系列7名、愛媛県総合科学博物館、PTA、角野公民館
	9	2月子ども食堂	ボランティア6名、新居浜子ども食堂中村松本店
	11	第32回新居浜グローバルパーティー（新居浜ウィメンズプラザ）	ボランティア12名、新居浜市
	12	新居浜ESD/SDGsツアー（マイントピア別子）	ユネスコ部3名、新居浜市、
	12	四国ESDフォーラム2024（あかがねミュージアム）	四国地方ESD活動支援センター

2	15	産業社会と人間 旧広瀬邸訪問	1年次生 117名、広瀬歴史記念館 地域共創系列5名、新居浜市、PTA、角野公民館
	15	地域共創講座⑦「Hello!NEW って何だろう？」	

### 3 実施内容

主な実施内容について報告する。

#### (1) 別子銅山に係る調査研究・研修・情報発信活動等の実施

##### ア 市民講座への参加

別子銅山記念図書館主催、2か月ごとに開催される別子銅山に関連する市民向け講座を受講し、別子銅山への理解を深めた。(写真1)

##### イ 別子銅山での調査研究

別子銅山の発祥の地、旧別子地区へ現地調査を行った。中学生の登山学習のガイドを務めていることもあり、ルートの安全確認も同時に行った。(写真2)



写真1 市民講座



写真2 別子銅山での調査・研究

##### ウ 別子山地区での調査研究

別子銅山の歴史文化と関わりの深い別子山地区へ現地調査を行った。南光院、住友林業の森フォレスターハウス、日浦通洞、筏津坑、別子ふるさと館など、別子銅山の近代化産業遺産を見学した。その際には当地区出身で本校の卒業生である伊藤美紀氏に現地案内を務めていただいた。(写真3)

##### エ 関係者への聴き取り調査

東平地区出身で、別子銅山稼働時に坑内作業員であった伊藤孝氏(76歳)から、当時の仕事や生活の様子について、東平地区の現地で聴き取り調査を行った。その際にも伊藤美紀氏に同行いただき共に学びを深めた。(写真4)



写真3 別子山地区での調査・研究



写真4 聴き取り調査

#### オ 1年次生遠足事前学習会

1年次生の遠足ではマイントピア別子へ行くことから、事前に学習会を行い、別子銅山への興味や関心を喚起し、道中の安全についても確認した。(写真5)

#### カ 1年次生遠足

学校からマイントピア別子まで徒歩による遠足を実施した。途中、旧住友金属鉱山鉄道下部線跡(住友金属鉱山(株)別子事業所より特別許可)を通行させていただいた。別子銅山の近代化産業遺産に触れ、学びを深める貴重な機会となった。(写真6)



写真5 1年次生遠足事前学習会  
キ えんとつ山フィールドワーク



写真6 1年次生遠足

2年次生の総合的な探究の時間「ライフスタディⅠ」において、別子銅山の製錬所跡煙突が遺る生子山(通称:えんとつ山)へフィールドワークを行い、別子銅山の環境問題克服の歴史をたどった。(写真7)

#### ク マイントピア別子活動紹介展示ブース開設

株式会社マイントピア別子との協働事業で端出場ゾーンにおける鉱山観光列車の待合所を地域共創系列・ユネスコ部の活動の展示ブースとして開設した。高校生推しの観光スポットを紹介したパネルや動画などを紹介している。(写真8)



写真7 えんとつ山フィールドワーク  
ケ 別子銅山産業遺産創造塾



写真8 活動紹介展示ブース

新居浜市企画部別子銅山文化遺産課主催による別子銅山産業遺産創造塾が開塾され、地域共創系列・ユネスコ部員が入塾した。6月から8月の期間5回開催され、座学、フィールドワーク、ワークショップ、ポスター作成などを行い、認定審査会では筆記試験、プレゼンテーションを行い、2年次生の総合的な探究の時間「ライフスタディⅠ」において、別子銅山の製錬所跡煙突が遺る生子山(通称:えんとつ山)へフィールドワークを行い、9名が認定された。(写真9、10、11、12)



写真9 別子銅山創造塾フィールドワーク



写真10 別子銅山創造塾ポスター作成



写真11 別子銅山創造塾プレゼンテーション



写真12 別子銅山創造塾認定記念写真

コ 新居浜市内五高校家庭クラブ交歓会

新居浜市内の県立学校5校の家庭クラブ交歓会が本校で開催され、本校の活動報告やツガザクラのちぎり絵づくりなどで親睦を深めた。(写真13)

サ 令和5年度地域視覚障がい福祉研修会

愛媛県・新居浜市が主催、県内から100名余りが参加する研修会開催され、ユネスコ部員が別子銅山の近代化産業遺産について、銅鉱石のサンプルなどを用いて視覚障がい者に配慮した紹介を行った。(写真14)



写真13 新居浜市内五高校家庭クラブ交歓会



写真14 令和5年度地域視覚障がい福祉研修会

シ JICA地域理解研修

JICA四国主催、四国の大学院で学ぶ開発途上国から来日した長期研修員13名(13か国)が別子銅山の歴史を学ぶために新居浜市を一泊二日で訪れた。地域共創系列・ユネスコ部員らが英語による観光地ガイドに挑戦し、銅板を使用した折り鶴づくりなどで交流を行った。(写真15、16)



写真 15 東平地区での観光記念写真



写真 16 銅の折り鶴づくり

**ス 新居浜KENPOSウォーキングイベント**

新居浜市主催による健康ウォーキングイベントが開催され、ユネスコ部員が参加者とともに市内の観光スポットを巡りながらガイドを務め、新居浜の先人を紹介した家庭クラブ制作の紙芝居も披露した。(写真 17)

**セ マレーシア・バドミントンジュニアチームとの交流**

愛媛県が東京オリンピック・パラリンピックにてバドミントンのホストタウンとなったことが縁で、マレーシア・バドミントンジュニアチームが新居浜市を訪れた。本校において、地域共創系列、国際教養系列、ユネスコ部らとお手玉遊びを楽しんだり、銅の折り鶴を作りお互いの親睦を深めた。(写真 18)



写真 17 新居浜KENPOSウォーキングイベント



写真 18 マレーシア・バドミントンジュニアチームとの交流



写真 19 旧広瀬邸訪問



写真 20 新居浜グローバルパーティー参加者

## ソ 旧広瀬邸訪問

1年次生の総合「産業社会と人間」において国重要文化財である旧広瀬邸を訪問し、別子銅山の近代化に貢献した広瀬幸平の邸宅にかけた思いをたどり、広瀬歴史記念館を見学して工都新居浜の生い立ちと日本の近代産業の青海について学んだ。(写真 19)

## タ 新居浜グローバルパーティー

同会が主催し、新居浜市が主催し新居浜ウィメンズプラザにおいて開催され、12カ国 90名の外国人、242名の日本人、合計 332名が参加し、盛大に行なわれた。本校 11名、新居浜東高校 2名、新居浜工業高校 1名の計 14名がボランティアとして参加し、パーティーを支える大切な役割を果たした。(写真 20)

## チ 新居浜ESD/SDGsツアー・四国ESDフォーラム2024

四国地方ESD活動支援センターが主催、あかがねミュージアムを会場に開催され、市内外から多くの方が参加された。そのフォーラムを前に、午前中観光ツアーが行われ、ユネスコ部員がマイントピア別子端出場ゾーンのガイドを行った。午後からは、ミュージアムを会場にフォーラムが開催され、新居浜市内でESD教育に取り組まれてきた先生方のリレートーク、四国各県からの代表高校生による事例発表が行われ、本校の取組をユネスコ部員が代表して発表を行った。(写真 21、22)



写真 21 新居浜 ESD/SDGs ツアーでの観光ガイド 写真 22 四国 ESD フォーラム 2024 での事例発表  
ツ ライフスタディⅡ(課題研究)等学習成果発表会

3年次生の総合的な探究の時間「ライフスタディⅡ(課題研究)」を中心にした発表会を新居浜市民文化センターで開催した。多くの来賓をお迎えし、大ホールのステージでの発表や展示室での作品展示やポスター発表などを行った。愛媛大学教授の小林修先生に講評をいただいた。(写真 23、24)



写真 23 大ホールステージでの発表の様子



写真 24 愛媛大学小林修先生の講評の様子

(2) 高校生と地域住民が共に学ぶ地域に開放した「地域共創講座」の開講

地域共創系列「にいほま学Ⅰ」において外部講師を迎えた「地域共創講座」を角野公民館と連携し、地域住民にも開放して開講した。

6月から2月まで17回の講座を開講し、17名の講師を招聘し、PTA関係者及び地域住民のべ89名が受講した。(写真25、26)



写真 25 地域共創講座会場の様子



写真 26 地域共創講座ワークショップの様子

回	講座内容	講師
1	銅山の歴史的意義	別子銅山記念館館長 神野和彦氏
2	住友煙害の克服の歴史～受け継がれる先人の思い～	日暮別邸記念館 副主任 山下佳苗氏 副主任 森本友美氏
3	広瀬・伊庭 明治の近代化	広瀬歴史記念館館長 土岐幸司氏
4	やさしい別子銅山の歴史～上部鉄道・東平・端出場～	新居浜観光ガイドの会会長 石川潔氏
5	別子銅山の近代化産業遺産の保存・活用について	新居浜市別子銅山文化遺産課 伊藤広大氏
6	多文化共生ってなに？	新居浜市国際交流協会事務局長 土井美智子氏
7	異文化コミュニケーション	新居浜市国際交流員 ファラ氏
8～10	新居浜のものづくり産業①②③	新居浜ものづくり人材育成協会理事 三浦清孝氏
11	写真で見る にいはま今、昔	新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポ代表 松山明子氏
12	地域にある国際社会～グローバル人材として～	JICA愛媛 大石紗己氏
13	日本でのベトナム人としての生き方	新居浜市国際交流協会 チャン・ティ・ホン氏
14～15	SDGsの視点で考える気候変動 “わかっている”から“貢献できる”へ①②	愛媛県地球温暖化防止活動推進センター 山中三沙貴氏 新居浜KITE代表 大西政年氏
16	銅山峰のツガザクラ群落	愛媛県総合科学博物館学芸員 川又明德氏
17	Hello!NEW って何だろう？	新居浜市シティプロモーション推進課 副課長 吉岡奈津子氏 坂本篤紀氏

表 1 開講講座の内容と講師

(3) 高校生による地域の小中学校における出前講座「別子銅山を学ぼう！」の実施

ESD中高連携事業として市内7校のべ483名と学びを共にした。うち1校は高校生がリーダーとなって別子銅山への登山学習も行った。(写真27、28)

新居浜市社会福祉協議会別子山分室・児童施設課連携事業による「別子山の歴史と自然を学ぼう！」を市内四つの児童施設からジュニアリーダー（小学校4年生から6年生で構成）34名が参加し、別子山地区の別子山分館において開催した。ユネスコ部・地域共創系列の生徒はESD、SDGs、別子銅山の歴史やツガザクラ、端出場水力発電所等の解説を行った、家庭クラブの生徒は別子銅山の環境へ取組んだ先人を紹介した

「伊庭貞剛の緑の御送り」の紙芝居を披露した。(写真29、30)



写真 27 出前授業の様子



写真 28 別子銅山登山学習の様子



写真 29 出前授業の様子



写真 30 別子銅山登山学習の様子

#### (4) 高校生による新居浜子ども食堂中村松木店の企画、運営の実施

毎月一回実施される子ども食堂中村松木店において、毎月一回の実行委員会を行い、企画・運営を高校生が中心となって行った。のべ 112 名がボランティアとして参加した。(写真 31、32)



写真 31 子ども食堂で工作を楽しむ様子



写真 32 ボランティア生徒たち

#### (5) 地域と連携した「国天然記念物銅山峰のツガザクラ群落」の保護活動の実施

新居浜市の登山愛好家グループ「懂山会」と春季と秋季の 2 回に渡り活動を行った。具体的な活動内容は、踏み入れを防ぐための保護柵の点検・整備、定点観測、盗掘状況の調査である。開花時期に盗掘跡と思われる場所は数十か所に上り、大変深刻な状況である。その活動の様子は、愛媛新聞社、あいテレビ、NHK（にっぽん百名山）など各種メディアでも取り上げられた。(写真 33、34、35、36)



写真 33 保護柵の整備の様子



写真 34 定点観測の様子



写真 35 盗掘と思われる場所



写真 36 高校生による地域の魅力再発見・PR動画

(6) 地域と連携したインターンシップ、バイターンシップの実施

新居浜機械産業協同組合にご協力いただき、6月には工業系列2、3年次生、年明け1月には2年次生のみで、のべ12社において各5日間のインターンシップを行った。その際に、インタビューシップも同時に実施した。

また、後日報告会を開催し、事業所、組合、行政等の関係者に参観いただきポスターセッションによる報告を実施した。

ところで、夏季休業期間を利用して新居浜商工会議所、ハローワーク新居浜の協力の下でバイターンシップに取り組んだが、生徒の希望先と受入先の事業所の未整備によるミスマッチで断念した。(写真 37、38)



写真 37 インターンシップの様子



写真 38 報告会の様子

(7) 先進地域との交流学习および現地研修の実施

ア 足尾銅山現地研修

一般財団法人産業遺産国民会議と協働で地域共創系列・ユネスコ部員による産業遺産情報センター（東京）、足尾銅山（栃木県）へ現地研修を行った。産業遺産情報センターでは、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」について研修を行い、足尾銅山の現地研修に向けた基礎を学んだ。

足尾銅山現地研修では、古河機械金属株式会社足尾事業所のご協力をはじめ地元の方々のご尽力により、貴重な足尾銅山の近代化産業遺産を見学させていただいた。

また、栃木県立日光明峰高等学校を訪問し、高校生による活動発表などの相互交流で親睦を深めることもできた。さらに、世界遺産「日光東照宮」も見学し、幅広く歴史文化を学ぶ機会となった。（写真 39、40、41、42）



写真 39 産業遺産情報センター



写真 40 足尾銅山現地研修



写真 41 栃木県立日光明峰高等学校



写真 42 日光東照宮



写真 43 島根県立瀬摩高等学校での事例紹介



写真 44 石見銀山合同現地研修記念写真

## イ 石見銀山現地研修

先に交流が深まった栃木県立日光明峰高等学校が石見銀山現地研修を実施することから、本校も合流させていただいた。

島根県立邇摩高等学校を訪問し、石見銀山学習の取組事例の紹介、学校の施設見学、石見銀山の合同現地研修を行い、高校生同士の親睦がさらに深まるとともに、同じ産業遺産を持つ高校との連携の輪がさらに広がった。

また、本校卒業生の伊藤美紀氏も本研修に同行いただいた。(写真 43、44)

### (8) 新居浜市 SDGs 推進プラットフォーム事業へ参画し、各種関係団体等と協働した活動の実施と持続的発展可能な地域づくりの学び「学びの絆サイクル」循環の研究

新居浜市主催による新居浜みらい会議「高校生アイデアコンテスト」に応募し、優秀賞を受賞。創出したアイデアを新居浜市 SDGs 推進プラットフォーム事業の入会団体と協働しながら実現させた。

アイデアは、「あかがねの道スタディツアー2024～にはまの SDGs を見て、知って、感じて、自分ごとに～」と題して、別子銅山により誕生した工都新居浜のものづくりと歴史を体感する観光ツアーで、観光ツアーを通して SDGs を自分ごとにしていただくことを目的とする内容である。

中学生の親子二組4名が参加し、大石工作所での企業見学とものづくり体験、高校生によるマイントピア別子での観光ガイド、新居浜市職員によるカーボンニュートラルの取組を紹介するなど、SDGs の視点を取り入れたツアーを実施した。

(写真 45、46、47、48)



写真 45 最終審査会プレゼンテーションの様子



写真 46 ツアー受付の様子



写真 47 企業でのものづくり体験の様子



写真 48 観光ガイドの様子

#### 4 成果と今後の課題

別子銅山と SDGs をベースとして、様々なステークホルダーと連携、協働しながら実践を行った。

生徒たちは自らできることを見付け、それぞれの場で自らの限界にチャレンジした。

そこから見えてきたことは、本物との出逢いの大切さである。人、もの、自然環境などとの関りを通して、自らの成長を実感した生徒の姿があった。

自分が懸命に行動することで、周りの人たちを巻き込んでいく。

温かい声援を掛けてくださり、惜しみない支援をいただき、背中を押してくれる地域の方々や仲間たちと深い交流が生まれた。

進路に悩み苦しんでいた生徒が、真摯に取り組む姿を見守っていた事業所の方から就業の誘いをいただき、進路決定という自らの課題解決へと導かれた事例もあった。

自らがチャレンジし続けることで、自らが変化するとともに周りも変化してくる。そこに、エージェンシーとしての芽が育ってきたように感じる。

このたびのプロジェクトを通して、幅広く多くの方たちとの絆を結ばせていただくことができた。

今後は、この絆をさらに強固なものとし、持続発展可能な地域づくりの学び「学びの絆サイクル」を循環する仕組みづくりに取り組みたい。

次年度は、魅 Can 部の創設という大きな改革期を迎える。これを学校の魅力化への絶好の好機と捉え、より全校的な取組として変化していきたい。